

# 第13回農業委員会総会議事録

1. 開催日時 令和4年3月30日（水）午後1時30分から午後2時45分

2. 開催場所 妙高市役所 4階 402会議室

3. 出席委員

農業委員（16名）

会長	2番	安原 義之			
会長職務代理者	6番	市川 政一			
委員	1番	尾崎 香	3番	関原 正晴	4番 飯塚 淳一
	5番	山下 利秋	7番	清水 輝男	8番 霜鳥 勝範
	9番	丸山 光浩	10番	高橋 敏明	11番 生井 一広
	13番	内田 芳昭	14番	丸山 嘉之	15番 竹内 則孝
	16番	竹田 賢一	17番	宮尾 俊一	

4. 欠席委員（1名）

12番 渡邊 春男

5. 提出議題

報告第43号	農地法第18条第6項の規定による通知について
報告第44号	農地法第3条の3の規定による届出件数報告について
議案第58号	農地法第3条の規定による許可申請について
議案第59号	農地法第5条第1項の規定による許可申請について
議案第60号	農地法の適用を受けない事実確認願について
議案第61号	農用地利用集積計画について

6. 職務のために出席した農業委員会事務局の職員

局長	東條 義博	次長	西澤 明夫
係長	山口 修	主査	竹田 由之

## 7. 会議の概要

局 長

お疲れ様です。

本日の出席委員を報告します。出席委員は16名です。

それでは、安原会長お願いします。

会 長

ご苦労様です。

今年度最後の総会になります。

新体制になって、1年が経過しました。

中々コロナの収束もままならない中で、通常の業務の推進にも少し影響が出たような気がする1年でございました。

ここへ来てようやく「まん延防止措置」も全国解除になりましたけれども、毎日の報道の数字を見ていると、感染者数が中々下がって来ていない状況であります。

ちょっとまだ懸念することがたくさんあるのではないかなというような状況でございます。

それにしても今年の大雪により、いろいろと被害が出たり、除雪等々にも高額な費用が発生した状況でございます。

現在、私の会社でも苗場に雪があつて、毎日毎日、井戸水と重機を使って雪消しをしておりますが、4月2日には1回目のスジ播きをしなくてはいけない予定になっております。

雪消しとスジ播きが並行作業になり、1回2、400枚くらいのスジ播きをするのですが、これを8回転ずるということで、終わるのが6月の頭というようなことで、田植えと並行作業になります。

そんな中、皆さんも、やはり1年で一番忙しい時期を迎えられるわけでございますけれども、この間の風じゃないですけどハウスが破れたり、いろいろな障害があるかと思いますが、何とかまたやりくりしながら、皆さんで頑張っていきたいと思っておりますので、けがをしないように、よろしくお願いいたします。

それでは、座らせていただき、進めさせていただきます。

議 長

妙高市農業委員会会議規則第6条及び農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、本会は成立しておりますので、第13回妙高市農業委員会総会を開会します。

最初に議事録署名委員を指名します。

10番の高橋 敏明委員、11番の生井 一広委員、よろしくお願いします。

本日の議題については、報告事項が2件、議案が4件です。

公正かつ厳正な、ご審議をお願いします。

まず、報告事項ですが、

報告第43号 農地法第18条第6項の規定による通知について

報告第44号 農地法第3条の3の規定による届出件数報告について

事務局より、報告事項2件の説明をお願いします。

事務局

報告事項について説明します。

1ページ、報告第43号 農地法第18条第6項の規定による通知について、です。

2月に届出がありました合意解約は、12件です。

解約後の状況につきましては、右端に記載のとおりですが、主なものとして、宅地へ転用、他の人へ賃借、保全管理となっております。

2番～8番につきましては、2月総会にて議決相当とされました柳井田町4丁目の宅地造成に関するものです。

11番につきましては、後ほど審議いただきます議案61号農用地利用集積計画の26番に関するものです。

次に、4ページ、報告第44号 農地法第3条の3の規定による届出件数報告について、です。

2月の届け出は、相続件数は8件、新たなあつせん希望はありませんでした。  
以上、報告案件について説明させていただきました。  
よろしくお願いいたします。

議 長 事務局の説明に対しまして、皆様から質問等がありましたらお願いします。

議 長 無いようでありますので、報告事項2件については、ご承知いただきたいと思います。

議 長 次に、議案第58号 農地法第3条の規定による許可申請について、を上程します。  
それでは、事務局の説明をお願いします。

事務局 議案の説明に入る前に報告です。

先月、会長から、県内の現地確認の状況について確認をして欲しいというお話がありました。現在、県内35市町村に照会を出して、確認中でありますので、まとめ次第、報告させていただきたいと思います。

それでは議案第58号 農地法第3条の規定による許可申請については、5ページをご覧ください。

今月の許可申請は、2件です。

1番については、申請地は、錦町2丁目地内、登記地目：田が2筆で登記地積合計1,896㎡であります。

位置図は、資料No.1及びNo.2をご覧ください。

申請地は、令和3年まで譲渡人が耕作管理してきましたが、耕作管理が困難になってきたため、耕作者を探していたところ、令和4年の耕作に向けて譲受人と協議し、話がまとまったため、このたび売買により譲受人に譲り渡すものであります。

2番については、申請地は、大字小原新田地内、登記地目：畑が3筆で登記地積合計：546.71㎡であります。

位置図は、資料No.1及びNo.3をご覧ください。

申請地は、譲受人の居住する住宅の隣接地で、譲受人としては耕作するのに利便性が良いことから、譲渡人と協議したところ、話がまとまったため、このたび売買により譲受人に譲り渡すものであります。

以上、2件ですが、耕作面積及び権利を取得する面積が、下限面積の別段の面積である10アールを超えていること、及び農地法第3条第2項の不許可の項目に該当しないものと考えます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

議 長 担当委員の説明については、積雪量が多く現地確認が実施できなかったため、事務局の説明のみとします。

それでは、議案第58号の質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

議 長 無いようでありますので、これより、議案第58号 農地法第3条の規定による許可申請について、を採決します。

お諮りします。  
本件は、原案のとおり許可することに、ご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長           ご異議なしと認めます。  
よって、議案第58号については、許可することに決定しました。

議 長           次に、議案第59号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について、を上程します。議案第59号のうち、2番は農業委員会法第31条の「議事参与に制限」に係る案件です。  
最初に、1番を上程します。事務局の説明をお願いします。

事務局          議案第59号 農地法第5条第1項の規定による許可申請については、6ページ及び位置図をご覧ください。  
今月の許可申請は2件です。

1番について、申請地は、大字乙吉地内、登記地目：田が1筆、登記地積193㎡、登記地目：畑が2筆、登記地積合計：63㎡、田畑合計3筆、登記地積合計256㎡です。事業全体としては、隣接宅地104.61㎡を含めた360.61㎡の整備となります。  
位置図は、資料No.1及びNo.4をご覧ください。

申請地の農地区分は、周辺を道路等に囲まれ、付近の一団の農地から分断された農地であることから、他の農地区分のいずれにも該当しない、いわゆるその他2種に該当するものと思われます。

用地の選定にあたっては、同集落内での整備を希望していて、当該地が選定されていることから、適地と判断しました。

譲受人は申請地を購入し、一般住宅1棟とカーポート1棟の整備を希望しています。

以上、転用計画、資金計画及び資金計画の確認書類を確認した結果、特段問題ないと考えます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

議 長           続きまして、担当委員の説明については、積雪量が多く現地確認が実施できなかったため、議案第58号と同様に、事務局の説明のみとします。  
それでは、議案第59号のうち、1番に関する質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

議 長           無いようですので、これにて質疑を終わります。

議 長           これより、議案第59号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」のうち、1番を採決します。  
お諮りします。本件は、原案のとおり許可することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長           ご異議なしと認めます。  
よって、議案第59号のうち、1番は、許可することに決定しました。

議 長 続きまして、同じく議案第59号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」のうち、2番を上程します。

2番は、委員に関する案件ですので、委員は、農業委員会法第31条の規定による「議事参与の制限」に該当するため、退席してください。

＜委員 退席＞

議 長 議案第59号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」のうち、2番を上程します。

事務局の説明をお願いします。

事務局 2番について、申請地は、大字窪松原地内、登記地目：田が27筆、登記地積合計：14,647.30㎡、登記地目：畑が12筆、登記地積合計：2,611.52㎡、田畑合計39筆、登記地積合計：17,258.82㎡です。

事業全体としては、隣接地等11,257.34㎡を含めた28,516.16㎡の転用となります。

位置図は、資料No.1及びNo.5をご覧ください。

申請地は、農振農用地でありますが、3年以内の期間の一時的な転用で、農業振興地域整備計画の達成に支障を及ぼす恐れがないと認められるものに該当することから、許可できる案件であります。

用地の選定にあたっては、今後の工事の効率を考慮し当該地が選定されていることから、適地と判断しました。

ただし、本案件は、追認案件であります。

本案件は、昨年、全国的な盛土に関する調査が実施された際に、残土置場として使用している現状を把握し、事業者が事業計画等を確認し、県担当者に確認したところ一時転用の手続きが必要な案件と判明したことから、今回の申請に至り、事務局から申請人に指導したものであります。

それを受けて、残土置場の一時転用に関し、申請人から始末書の提出がありました。

#### 【 始末書 朗読 】

本件については、農地法を十分に理解していなかったことが原因でのやむを得ない事情によるものであり、許可して差し支えないと考えます。

あわせて、本事案は、許可面積が3,000㎡を超えるため、事前に農地部会を開催し、確認をしていただく案件でありましたが、降雪期で積雪があり、現地確認ができない等から、農地部会を経ずに本日の提案とさせていただきます。

今回の総会で許可相当の議決を賜った場合には、4月の新潟県農業会議の常設審議委員会に諮問する案件であることを申し添えます。

以上、転用計画、資金計画及び資金計画の確認書類を確認した結果、特段問題ないと考えます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

議 長 担当委員の説明については、委員が担当委員であること、積雪量が多く現地確認が実施できなかったため、議案第58号と同様に事務局の説明のみとします。

それでは、議案第59号のうち、2番に関する質疑を行います。

皆様から質問等がありましたらお願いします。

委 員 申請者は、妙高市以外で今までこういうことをしてきたというか、そういう案件はないのですか。

事務局 上越市において、残土処理の現場を管理しているという話は聞いておりますが、このような造成をしているというようなところはないと聞いております。

委 員 心配したのが、一時転用の始末書も出た事案なのですが、残土置場ですよね。万が一、産業廃棄物など混ざったものが持ち込まれないように市としても監視をしてもらいたいと思っています。

申請地は川沿いですね。近年の異常気象等により、変なものが入っていたら周りの川に入ってしまうようなことにあれば、付近は田園地帯なので、そのあたりのことも考えて欲しいと思います。

会 長 今、委員から皆さんで再度確認、ご意見等があったらお話いただきたいということですが、皆様から何かございますでしょうか。

私の方から補足ですが、資料の申請地の上に三枚の田がございます。これは以前造成されたところでございます。

私もこの近くに田んぼがあるので分かりますが素晴らしい田んぼになっております。

ここで確認なのですが、これは、耕作者も、土地の所有者も了解した上で、以前に造成されたものと同じように進めるということでしょうか。

事務局 はい。

議 長 他にありませんか。無いようですので、これにて質疑を終わります。

これより、議案第59号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」のうち、2番を採決します。お諮りします。

本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第59号のうち、2番は、許可することに決定しました。

それでは、委員の退席を解除します。

<委員 復席>

議 長 次に、議案第60号「農地法の適用を受けない事実確認願について」を上程します。事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第60号 農地法の適用を受けない事実確認願については、8ページをご覧ください。

今月の確認願は、1件です。

申請地は、大字西野谷地内、登記地目：畑が2筆、登記地積合計：128㎡であります。位置図は、資料No.6をご覧ください。

申請地は、今後、県営治山事業にかかる保安林指定が計画されていることから、上越地域振興局から確認願が提出されたものであります。

申請地は、積雪のため現地確認はできませんでしたが、関係者からの聞き取りでは、耕作放棄されて、最低でも30年以上農地として耕作されず、周囲と共に山林原野化している状況であることを確認しました。

以上ですが、申請農地については、現地の状況や周囲の環境から、今後も農地としての活用が見込めないことから、調査地を非農地と判断し、農地法の適用を受けないことを確認して特段問題ないと考えられます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

議 長 続きまして、担当委員の説明については、積雪量が多く現地確認が実施できなかったため、議案第59号と同様に、事務局の説明のみとします。  
それでは、議案第60号の質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

議 長 無いようですので、これにて質疑を終わります。  
これより、議案第60号「農地法の適用を受けない事実確認願について」を採決します。お諮りします。  
本件は、原案のとおり許可することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長 ご異議なしと認めます。  
よって、議案第60号は、許可することに決定しました。

議 長 次に、議案第61号 農用地利用集積計画について、を上程します。  
99番から102番については、農業委員会法第31条の「議事参与の制限」にかかる案件ですので、最初に1番から98番までの98件を上程します。  
事務局の説明をお願いします。

15ページ、議案第61号 農用地利用集積計画について、をご覧ください。

事務局 今月は、新規設定55件、再設定47件、の合計102件です。  
はじめに1番から98番について説明します。

1番から53番につきましては新規設定です。  
契約内容は、使用貸借または賃貸借となっております。  
そのうち、30、31、43番については使用貸借となります。

1番から26番については、個人の新規就農者2名です。  
両名ともに上越市在住の農業者です。

3月17日に会長職務代理、担当農業委員、推進委員、農林課、事務局にてヒアリングを実施しました。

ヒアリング内容について報告します。

はじめに1番から25番の新規就農者ですが、申請に至った経緯は、申請者は酪農を営んでいることから、これまで市内の酪農家とともに申請地を含む牧草地を管理してきましたが、市内酪農家の死去により、牧草地として利用しなくなることから大字北条区長から水稻の作付について相談を受け、これまで利用させてもらった経緯もあり、引き受けたとのことです。

- ・5年間の利用権を設定し、その間は他者への所有権移転や利用権の解約はしない約束で取り組んでいくとのこと。
  - ・所有者が6年目以降も耕作を望んでいる土地については継続もやぶさかではないとのこと。
  - ・現在の実施体制は、申請者と奥様、息子の3人で取り組んでいるとのこと。
  - ・将来的には、息子さんに申請地を任せたい意向もあるが、当面は申請者と共に取り組んでいくとのこと。
  - ・申請者の自宅から申請地までは片道15分程度で、通作には支障はないとのこと。
  - ・これまで牧草を育ててきた土地だが、耕運して水を入れて代かきすることにより、牧草は水に弱いので大部分の牧草は無くなるとのこと。
  - ・令和4年は、早生の飼料用米を作付けして、盆明けの収穫を目指すとのこと。
  - ・今年の収穫までの一連の状況により、農地自体の「地力」を確認しながら、令和5年以降の耕作や作付品種など検討して進めていくとのこと。
  - ・防除等については、仲間内で所有しているラジコンヘリで対応していくとのこと。
- 出席委員からは、牧草地の荒廃防止に力を貸していただいた御礼と、牧草から転換することや通作となることから、草刈管理、水管理等、周りに迷惑をかけない適切な対応を要望しました。

ヒアリング終了後、出席委員と協議し、牧草栽培から水稻栽培へ転換する具体的な取り組み方法や意向が確認できたことから、担当委員から見守ってもらいながら、適切な耕作管理の実践に取り組んでいただくことで、3月総会に議案を上程することで全員の同意を得ました。

参考資料として31ページに位置図を添付しています。

これまでの牧草地全体で48筆101, 228㎡のところ、赤く着色している85, 259㎡については申請者が利用権設定し、残りの青く着色している15, 969㎡については農地の所有者もしくは現在の耕作者が耕作されることで、今までの牧草地として利用していた農地は全て利用されることで遊休農地の発生はありません。

続きまして、26番の新規就農者ですが、申請に至った経緯は、妙高市内の知り合いから、申請農地を紹介されて耕作することとしたとのこと。こちらにつきましては先ほどの報告第43号の11番になります。

ヒアリングの内容についてですが、

- ・現在の実施体制は、申請者とアルバイト1人を雇って取り組んでいるとのこと。
- ・就農については、脱サラして専業農家となり、令和3年に上越市で新規就農者の認定を受けて、5年目には認定農業者となるとのこと。
- ・5年後には、経営面積を21ヘクタールの目標としているが、令和4年には目標を達成するとのこと。
- ・現在、19ヘクタールを耕作しているが、そのうち、上越市藤巻に約10ha、上越市木田と上越市地頭方で残りの約9haを耕作しているとのこと、申請地までの通作には支障がないとのこと。
- ・就農後は、市内の認定農業者のもとで2年間修業した経緯があり、現在、上越市で耕作している農地については、同認定農業者がそれまで耕作していた農地を引き継いだものが大部分とのこと。
- ・作業所や倉庫は、知り合いの離農者から借地して、上越市の藤巻に整備して拠点としているとのこと。
- ・農機具等は、1,500万円程度借り入れて購入整備したとのこと。
- ・収穫したコメは、99%を市内商店と取引しており、令和3年度は黒字決算となったとのこと。



地元出席委員からは、周囲に管理状況の悪い農地があるが、草刈管理、用水管理、水管理、水田状況等については、周りに迷惑をかけない適切な対応とともに、費用対効果を考えた経営を心掛けて妙高市でも拡大して欲しい旨要望した。

ヒアリング終了後、出席委員と協議し、若い新規就農者の農業に取り組んでいく前向きな姿勢・意向が確認できたことから、担当委員から見守ってもらいながら、適切な耕作管理の実践に取り組んでいただくことで、新規就農者として3月総会に議案を上程することで全員の同意を得ました。

只今説明しました2名の新規就農者ですが、始めの方は上越市の認定農業者であり、2人目の方も今後、上越市の認定農業者になる予定とのことです。

ヒアリングでは妙高市での認定農業者への申請についても依頼したところです。

そして、両名ともに、当市の担い手として集積・集約について期待するものです。

続きまして、23ページ54番から29ページ98番につきましては、再設定です。

契約内容は、使用貸借または賃貸借となっております。

そのうち、54、79、81、89番については使用貸借となります。

再設定ですので、特に問題はないと思われます。

契約内容の対価額において端数が出ているものにつきましては、10aあたりに換算していることから発生しているものです。

なお、1番から25番につきましては、契約期間が全て5年間ですが、1～2年目と3～5年目の設定金額が異なるものです。

以上、市長への農用地利用集積の計画要請につきましては、経営面積、従事日数など農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長       ただ今の事務局の説明について、1番から25番までの地元委員から何か補足ありませんか。

委 員       この方と何度か面接というか、お話をさせていただきまして、大変意欲を持って取り組むということです。あと、息子さんもこの後、専従になる予定ということです。その辺も様子を見ながら、見守っていきたいと思っております。

議 長       同じく26番の地元委員から何か補足ありませんか。

委 員       この方と話したのですが、年齢が42歳で非常に魅力的なのですが、先ほども事務局から説明ありましたが、費用対効果を考えた場合に、若干マイナスになるのではないかとということで、今後についてお聞きしました。

作業所については、将来的に、上越市と妙高市で作業所を作って、少しでもその費用対効果を上げていきたいということで考えているようです。

それから1,500万円ぐらいの借金をして農業を始めたということだったので、どういう経営をしていくかということ聞いたのですが、今のところ、商社一本に絞っているということだったので、個人販売あるいはネット販売など、そういうものをしないと利息が据え置き5年間であっても、今のままでは相当苦しい経営状況になるので、もう少し考えて経営していかないと、規模拡大は難しいと思います。ことで、私なりの提言をさせていただきます。

議 長            それでは、議案第61号のうち、1番から98番に関する質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

会 長            32番から39番までですが、全て同じ地区ですがこれは種場ですか。  
最近、種を作る人がいなくなってきたと、この辺の地区の方からお聞きします。  
種苗を作っているところも限られており、個人で作っておられる方はいいのですが、最近当社でも悪い苗が結構出てきているということをお聞きします。  
それについて、JAでは種場の周り500m以内で、そういう種や苗を作っておられるところに調査に入っているそうです。  
当社からもそこへ行っている箇所があるのですが、JAさんから言わせると少なくとも、規定らしい規定はないのだけれども、悪い種苗もあり、大変よろしくないとのこと。  
皆さんも関連しているかと思い質問をしました。

事務局            確認します。

議 長            他にありませんか。無いようですので、これにて質疑を終わります。  
これより、議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、1番から98番を採決します。  
お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長            ご異議なしと認めます。よって、議案第61号のうち、1番から98番は、市長に要請することに決定しました。

続きまして、同じく 議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、99番と100番を上程します。

99番と100番は、委員に関する案件ですので、委員は、農業委員会法第31条の規定による「議事参与の制限」に該当するため、退席してください。

＜委員 退席＞

議 長            議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、99番と100番を上程します。  
事務局の説明をお願いします。

事務局            99番・100番について説明いたします。29ページをご覧ください。  
先ほどの説明と同様となりますが、99番は新規設定、100番は再設定です。  
いずれの契約内容も賃貸借となっております。  
ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議 長            それでは、議案第61号のうち、99番と100番に関する質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

事務局            無いようですので、これにて質疑を終わります。  
これより、議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、99番と100番を採決します。お諮りします。  
本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長       ご異議なしと認めます。  
よって、議案第61号のうち、99番と100番は、市長に要請することに決定しました。  
それでは、委員の退席を解除します。

＜委員 復席＞

議 長       続きまして、同じく 議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、101番を上程します。  
101番は、委員に関する案件ですので、委員は、農業委員会法第31条の規定による「議事参与の制限」に該当するため、退席してください。

＜委員 退席＞

議 長       議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、101番を上程します。事務局の説明をお願いします。

事務局       101番について説明いたします。30ページをご覧ください。  
先ほどの説明と同様となりますが、101番は再設定です。  
再設定ですので、特に問題はないと思われます。  
ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長       それでは、議案第61号のうち、101番に関する質疑を行います。  
皆様から質問等がありましたらお願いします。

無いようですので、これにて質疑を終わります。  
これより、議案第61号「農用地利用集積計画について」のうち、101番を採決します。お諮りします。  
本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」の声あり】

議 長       ご異議なしと認めます。  
よって、議案第61号のうち、101番については、市長に要請することに決定しました。

議 長       次に、議案第61号 農用地利用集積計画について、のうち102番を上程します。  
102番については、私に関する案件であります。  
農業委員会法第31条の規定による「議事参与の制限」に該当するため、議長を交代し退席します。

＜委員 退席＞

議 長       続きまして、議案第61号 農用地利用集積計画についてのうち、102番について、事務局の説明をお願いします。

事務局        １０２番について説明いたします。  
                  ３０ページをご覧ください。  
                  さきほどの説明と同様となりますが、新規設定です。契約内容は賃貸借となっております。  
                  ご審議のほどよろしくお願いいたします。

                  最後になりますが、３０ページの合計についてです。  
                  今月の件数が１０２件に対して、合計では１０３件となっておりますが、９７番につきましては、田と畑でそれぞれあることから合計が１０３件となるものです。

議 長        それでは、議案第６１号のうち、１０２番に関する質疑を行います。  
                  皆様から質問等がありましたらお願いします。

                  無いようですので、これにて質疑を終わります。  
                  これより、議案第６１号 農用地利用集積計画についてのうち１０２番を採決します。お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

                  【「異議なし」の声あり】

議 長        ご異議なしと認めます。  
                  よって、議案第６１号のうち１０２番については、市長に要請することに決定しました。  
                  それでは、委員の退席を解除します。

                  <委員 復席>

議 長        議案については全て終わりましたので、第１３回妙高市農業委員会の総会を閉会といたします。

                  以 上

この議事録は、農業委員会等に関する法律第33条に基づいて作成したものである。

妙高市農業委員会会長 安 原 義 之

この議事録の記載事項は、会議の内容に相違ないことを証明するため、署名押印する。

令和4年4月28日

議 長

印

妙高市農業委員会署名委員

印

妙高市農業委員会署名委員

印